

授業科目名： 英語演習（Ⅰ）	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2 単位	担当教員名：平岡 麻里 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 英語 ）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせ た内容に係る科目		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そ して人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三 つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題 探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成 」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。 A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、 狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。 B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つ こと。 C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。 D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の 精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業のテーマ及び到達目標 ・世界で話されている多様な英語のうちの重要なバリエーションの一つであるイギリス英語に 慣れる。 ・イギリス内外の世界情勢に触れながら、高度なリスニング力や発信力を養う。 ・授業内容に関連したトピックについて英語での意見交換や作文ができる。			
授業の概要 本演習では、最新の BBC（イギリス公共放送）ニュース映像を使用したテキストを使用し、イ ギリスや世界で起こっている出来事、そしてその背景にある社会や文化を学びながら、高度な リスニング力や発信力を養うことを目標としている。 教材は実際のニュースで話されているレポーターの解説や一般の人々へのインタビューなど			

をそのまま使用している。つまり、語彙や表現が加工されていない生の英語であるため、履修にはニュース内容が理解できる英語力（最低でも TOEIC600 点以上）があることが望ましい。また、基本的にイギリス英語が使われているので、ある程度の英語力があっても聞き取りに困難を感じる学生も多いが、履修者には意欲的に学修に取り組み、世界で話されている多様な英語のうちの重要なバリエーションの一つであるイギリス英語の特徴をつかんでほしい。

授業では語彙学習、内容理解の確認、ディクテーションなどの演習を行うとともに、内容に関連したトピックについて英語で答えたり、自分の意見を表明したりする作文を課し、ある程度フォーマルでアカデミックな英語のアウトプットにチャレンジする。

授業計画

第1回：本授業での学び方／Unit 1 An Award for an Unsung Hero（トライアスロンの伝道師）

第2回：Unit 2 Treasures of the Society of Antiquaries（家賃の値上げで骨董品が危機に？）

第3回：Unit 3 Changing Careers in the Pandemic

（パンデミックが若者の働き方にもたらした変化）

第4回：Unit 4 The Climate Change Threat to Heritage Sites（気候変動で墓地が廃墟に？）

第5回：Unit 5 Plastic from Peas（エンドウマメ・プラスチック）

第6回：Unit 6 Return of the Red Kites（鳥と人間の共存を目指して）

第7回：Unit 7 All Cars to Be Electric（ガソリン車が博物館に展示される未来）

第8回：Unit 8 Mend More and Buy Less: London Repair Shops（使い捨てのない社会を目指して）

第9回：Unit 9 Swimming to Cure Dementia（寒中水泳は長寿の秘訣？）

第10回：Unit 10 A Special Pop-up Shop on Carnaby Street

（ロンドン最先端エリアに黒人によるファッションブランドが登場）

第11回：Unit 11 School Laptops for All（コロナ禍の教育格差に歯止めを！）

第12回：Unit 12 A New Nuclear Power Station（原子力発電の未来はどうか？）

第13回：Unit 13 Meat Grown in the Laboratory（シンガポールで培養肉はいかが？）

第14回：Unit 14 Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales

（カーディフの脱炭素への挑戦）

第15回：Unit 15 Brexit Problems at the Border（離脱後の対EU 貿易のいま）

*スクーリングでは、Unit 8, 9 10, 11を中心にすべての内容を包括的に取り上げ、語彙学習、内容理解の確認、ディクテーション、内容に関連したトピックについて英語での意見交換、作文を行う。また、イギリス英語の特徴やイギリス社会についても紹介する。

テキスト

Timothy Knowles, 中村美帆子, 田中みんね, 馬上紗矢香（編著）『British News Update 4: 映像で学

ぶ イギリス公共放送の最新ニュース4』、金星堂（2022）

注意：このテキストはシリーズで毎年新しい内容のものが出版され、スクーリングはその年のシリーズ最新のもので実施される。

参考書・参考資料等

- （１）英語学習者向け英英辞典（電子辞典またはオンライン利用推奨）。以下を例として挙げる。

Longman Dictionary of Contemporary English

Oxford Advanced Learners Dictionary

- （２）イギリス英語の特徴について。以下を例として挙げる。

アルク英語出版編集部（著）『究極のイギリス英語リスニング Standard』アルク(2009)

マリ・マクラーレン（著）『日本人が知らないイギリス英語入門～アメリカ英語と比較しながら、基本から文化背景までわかる!』インプレス(2019)

- （３）英文エッセイの書き方について。以下を例として挙げる。

上村妙子、大井恭子（著）『英語論文・レポートの書き方』研究社(2004)

リーパーすみ子、横川綾子（著）『アメリカ人なら小学校で学ぶ 英文ライティング入門』アルク(2014)

学生に対する評価

レポート評価（25％）、スクーリング評価（25％）、科目修得試験（50％）を総合して評価する。